

JACS NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第26巻第3号

発行日●2018年9月7日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

第57回 消費者行動研究コンファレンスの概要

<統一論題>

アントレプレナーシップと消費者行動研究

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内いたします。
第1日目には、JACS論文プロポーザル賞、自由論題報告、会員総会、懇親会を予定しています。第2日目には、自由論題報告、統一論題を予定しています。

－開催概要－

開催日程： 2018年10月27日（土）・28日（日）
会場： 同志社大学 今出川キャンパス（京都府京都市）
研究会参加費： 4,000円〔学生：2,000円〕
※非会員の学生は、会場受付にて学生証の提示が必要になります。
懇親会参加費： 5,000円
参加申込： JACS Web サイト (<http://www.jacs.gr.jp/>)、FAX で受け付けております。
参加申込締切： 10月12日（金）必着

※時節柄、開催地周辺にて宿泊をご予定の際は、早めのご予約をお勧めいたします。

〔第1日目〕

10:15 - 10:25 開会の辞
10:25 - 11:55 プロポーザル賞
11:55 - 13:25 昼食休憩（役員会）
13:25 - 16:10 自由論題報告
16:10 - 16:25 休憩
16:25 - 17:10 会員総会
17:10 - 17:55 選挙
18:30 - 20:00 懇親会

〔第2日目〕

10:00 - 11:30 自由論題報告
11:30 - 12:30 昼食休憩
12:30 - 15:30 統一論題
15:30 - 15:40 閉会の辞

—統一論題—

「アントレプレナーシップと消費者行動研究」

栗木契(神戸大学)

アントレプレナー（起業家）というビジネスの世界の冒険家たち。彼らに消費者行動研究は、いかに貢献できるのか。

近年わが国では、産業、行政、教育の各方面でアントレプレナーへの関心が高まっている。その背景には、複数の要因がありそうだ。第1に、人口減に向かう国内市場にあっては、企業が成長を続けるには、新たなビジネスの領域を切り開くアントレプレナーの動きが重要となる。第2に、AIや通信ネットワークやロボティクスなどのデジタル技術の急速な発展を受けて、アントレプレナーの活躍が期待される領域が拡大している。第3に、新しい働き方や生活スタイルが、アントレプレナーの活躍によって社会に広がることへの期待がある。

消費者行動研究は、そのなかにあつてどのような貢献ができるのだろうか。アントレプレナーには2つのタイプがあり、個人で新たな事業をおこす個人起業家、そして組織のなかで新たな事業に取り組む社内起業家がいる。両者に共通するのは、新結合によって既存の産業とは異なる新たなビジネスの領域を切り開くことだといえよう。

気になる指摘がある。アントレプレナーたちは、マーケティング・リサーチを重要視していないというのだ。これは個人起業家であっても社内起業家であっても変わらないことのようにだ。

そこで有名なのは、スティーブ・ジョブズ氏の「マーケティング・リサーチは信用できない」との発言である。ここまで極端ではなくとも、「マーケティング・リサーチは行うが、あまり頼りにはならない」といった声をしばしば聞く。

とはいえアントレプレナーたちにとっても、新しい事業を立ち上げる際には顧客の獲得が欠かせず、顧客となる消費者に関する知見が重要となるはずである。それなのに、なぜ彼らは、マーケティング・リサーチを頼みとしないというのだろうか。

消費者行動研究は、マーケティング・リ

サーチを支える数々の技法や理論枠組みを産業界に提供してきたはずである。だが現在の延長線上にはない未知の消費、これをリサーチの対象とすることは難しい。その意味では、消費者行動研究が貢献してきたのは、既存の産業を対象としたときのマーケティング・リサーチだったのかもしれない。

しかしそうではあつても、視角を変えれば、消費者行動研究がアントレプレナーに貢献できることはあるのではないのか。アントレプレナーたちは、マーケティング・リサーチの可能性を狭くとらえ過ぎているのではないか。消費者の購買行動を予測することの他にマーケティング・リサーチが貢献できる、より重要な領域があるのではないか。

こうした問いに向き合い、そこではどのようなリサーチが求められることになるのかに思いを巡らし、議論を闘わせる。このアントレプレナーシップと消費者行動研究の接点をめぐっての思考の旅は、消費者行動研究のフロンティアを見いだすことにも貢献するはずである。

今回はメインスピーカーとして、大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所主席研究員の鈴木隆様、株式会社 SEEDATA 代表取締役の宮井弘之様にご講演を頂く。お二人は共通して、国内有数の大企業に籍を置きながら社内起業家となった体験をお持ちであり、既存と新規の2つの事業領域でのマーケティングプロセスに通じておられる。そしてパネルディスカッションでは、マーケティングに本質直感が果たす役割の探求で知られる、首都大学東京准教授の水越康介先生に加わっていただき、アントレプレナーに必要な知に、消費者行動研究がいかに貢献できるかについての検討を重ねる。

2018 年度国際学会派遣案内

日本消費者行動研究学会では、学会のグローバル化推進の一環として、学会員の海外学会発表（ポスター・セッションを含む）に対する助成を行っています。

海外発表の好機となりますので会員の皆様におかれましては奮ってご応募ください。

申請時につきましては、報告予定でも構いません。

なお、発表が不採択となった場合、助成金は、返還していただくこととなりますので予めご了承ください。

【助成内容】

1. 渡航費 : 上限 20 万円
2. 英文校閲費 : 上限 5 万円

【応募要領】

海外発表助成への応募を明記し、E-mail にてご応募ください。

●E-mail 記載事項 :

- ①申請者および発表者全員の氏名（少なくとも 1 名が会員であれば応募可能です）
- ②申請者および発表者全員の所属先
- ③発表学会名
- ④発表時期（来年度の発表も応募可能です）
- ⑤発表論題

●E-mail 宛先 :

jacs@asas-mail.jp（日本消費者行動研究学会 事務局宛）

●E-mail 件名 :

「JACS 国際学会派遣助成申請_申請者氏名」と記してください。

【応募締切】

2018 年 9 月 30 日（日）

【採否通知】

国際学会派遣審査委員会にて助成対象者を決定の上、2018 年 10 月下旬（10/30 頃）に採否について、事務局より連絡いたします。

【採択者の義務】

1. 派遣報告書の提出 :

派遣後 3 か月以内に、報告要旨と報告したときのコンファレンス状況などを「5000 字程度」でわかりやすくまとめて頂き、「国際学会派遣報告書」として事務局宛に提出してください。提出された報告書は、本学会のホームページならびに『消費者行動研究』誌に掲載致します。

2. その他の提出書類 :

報告後 1 か月以内に、採択者の氏名が記載された「(1) 派遣された学会のプログラム」、「(2) 助成内容 1 : 渡航費が明記された書類（注）」、「(3) 助成内容 2 : 英文校閲費の領収書」のすべてを事務局宛に提出してください。

（※注 : e チケットの控えまたはそれに準ずるもの、PDF 等のソフトコピーでも可）

事務局メールアドレスの変更について

本会事務局委託先の学会支援機構におけるネットワークセキュリティ強化に伴いまして、誠に勝手ながら学会事務局メールアドレスを以下の通り変更いたしました。

(旧) jacs@asas.or.jp

(新) jacs@asas-mail.jp

アドレス帳等の登録がありましたらお手数ですがご変更をお願いいたします。

学会費の「銀行振込み」についてのお願い

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局までe-mailにてご一報いただきますようお願い致します。

ご所属・ご住所の変更についてのお願い

★ご登録の所属先等が古いままで、更新されていない方が多く見受けられます。

ご所属やご住所が変更となる際には、必ずJACS事務局へご連絡ください。お手数ではございますがよろしくお願い致します。

また、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記されるケースが見受けられますが、変更のご連絡は、下記JACS事務局までお願い致します。なお、ホームページからご自身で直接、変更可能ですので、是非ご活用ください。

新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は、ホームページから入会申込書をダウンロードの上、必要事項を記入、捺印の上、事務局まで郵送でお送り下さい。

●入会資格

[学会会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。但し、学会会員2名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

●年会費

[学会会員] 10,000円

(但し、大学院生は5,000円に減免)

[賛助会員] 個人会員 1口 5,000円

法人会員 1口 50,000円

●日本消費者行動研究学会(JACS)事務局のご案内●

(事務局) 同志社大学 商学部 高橋広行研究室
〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸東入
Email: jacs.assist@gmail.com

(事務取扱) 日本消費者行動研究学会 事務取扱
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F
一般社団法人 学会支援機構内
Tel: 03-5981-6025 Fax: 03-5981-6012 Email: jacs@asas-mail.jp

<JACS Website> <http://www.jacs.gr.jp/>